

おしゃれな写真スタジオ

番 6



入口も屋上も花盛り

市立病院前のバス停すぐ南の写真館「フォト・C・スタジオ」が花のシーズンを迎え話題になっています。

入口はハンギング・バスケットとその上のコンテナでおしゃれにアーチが組まれ、色とりどりのパンジーがあふれるように咲いています。駐車場や店のまわりもネメシアやチューリップがびっしり。屋上ガーデンもあり、菜の花、葉牡丹、バラ、サクラソウ、ラナンキュラス、ルピナスなどが山並みを借景に鮮やかに映えています。お店の話では、スタジオ内よりも屋上で撮ってほしいというお客さんも増えているそうです。「お花に囲まれると自然と表情がなごみますからね」。さすがスタジオだけあり、演出は抜群なようだ…。



情報プランター

粟生外院バラ祭、5月23, 24日開催 グッズ、苗の即売会も

今年の「粟生外院バラ祭」は5月23日(土)、24日(日)の両日、粟生外院2の同園で午前10時から午後4時まで開かれます。去年よりざっと30株ほど増え240株が咲き揃うとのことです。またギンマサキ、フェイジョア、ハクロニシキ、オリーブなど鑑賞用のリーフプランツがあちこちに植えられバラを引き立てます。このほかバラのアプリケをちりばめたハンカチ、手芸品などのグッズやバラ苗の展示会も開かれます。

去年同様、園芸家・井野元敏さんが品種ごとの育て方や施肥のタイミングなどについて、園内を見回りながら相談に応じてくれるそうです。



彩都



市東部のニュータウン・彩都に甲子園のグランド2つがすっぽり入るでっかい「彩都なないろ公園」(2,6ヘクタール)がオープン、週末、祝日は家族連れで大賑わいしています。

3月中旬に開園したこの公園の自慢は、最大傾斜80度という関西初の「フリーフォールすべり台」2基。ほぼ垂直に滑り降りるのでスリルは満点です。長い列に並んでやっと順番がきたのに、あまりの急傾斜にギブアップする母子も…。

この公園には、すぐ近くの小中一貫校「市立彩都の丘学園」の児童、生徒のアイディアが詰まっています。湧水を利用したビオトープ池、日本一高いビル・あべのハルカスや京セラドームまで見渡せる展望台、東屋をイメージした休憩所、家族連れが楽しめるサクラ並木…。

「彩都なないろ公園」とネーミングした4年生の秋庭俊君(写真左)は「小さな子供からお年寄りまでみんなが楽しめるようにとの願いを込めました」と言っています。ヒトだけでなくドッグランでは、鎖を外してもらったイヌたちも思いっきり走り回っています。

(大阪モノレール彩都西駅徒歩20分、彩都粟生北)



ボクが名付けました!

ビオトープ池、展望台、ほぼ垂直の滑り台。
児童のアイディア込めた、新しい公園です。

「彩都なないろ公園」オープン

シリーズ

あの公園・あの庭は、いま…④

花とみどりの街角表彰

第4回奨励賞(団体部門)桜ヶ丘会

桜ヶ丘
2~3
紅葉橋通り



大正時代から昭和初期の家屋の名残をとどめる大正住宅博覧会地区周辺はゆっくりと時間が過ぎるような街並みです。

中央線から箕面川の田村橋、紅葉橋まで

延びる南北2本の道路沿いの家屋、街並みは都市景観形成地区や景観配慮地区に指定されており、増改築や野外広告物が厳しく規制されています。

そのせいか石垣や垣根まで表彰当時の9年前(写真下)とほとんど変わらない落ち着いた風情です。特に5月はツツジが道路沿いに咲き競い、さらながら“花の路(みち)”です。桜ヶ丘会の今枝章平さんは「景観を守るため日頃からいろいろ相談させていただいているが、お住まいになっている方は大変なご苦労と努力を重ねておられます」と言っていました。一度散歩してみませんか。

第7回花とみどりの街めぐり参加者募集!

街なかや住宅の花とみどりを観賞する「花とみどりの街めぐり」。

今回は小野原東5,6丁目辺りで行います。

初夏の花が咲きそろっていそうです。

5月30日(土)午後2時集合(～3時半)

集合場所: オレンジゆずるバス黄色ルート「多世代地域交流センター前」停留所
阪急バスの方は、小野原東線「小野原東停留所から」徒歩南東3分

お問い合わせ先 090-5651-0259(佐藤)



花とみどりの学校～新たに中級クラスも

箕面の街角緑花などの人材育成を進める「花とみどりの学校」(甲角裕子校長)は、このほど箕面市の助成決定を受け、今年度も引き続き開校することを決めました。7月に園芸基礎コースの第1期生約30人が卒業予定ですが、秋には卒業生などを対象に新たに中級クラスの講座を開設します。続いて、来年2月から基礎コースの第2期生を募集する予定にしています。[問合せ: 事務局/重本さん 090-4901-6693]

この3月末の「お花栽培のデザイン」の講義では、園芸デザイナーの女性講師が自らが管理する公営公園でいりん地区の労働者と花壇づくりをしている例などを紹介、「お花づくりを楽しむだけでなく、地域などのお役に立とう」「私は海外でボランティア活動もやってるが、(戦争で荒廃した)アフガニスタンで原産の赤いチューリップのお花の野を復活したい」と熱弁アピール、生徒さんたちの共感を呼び盛り上がりました。



▲熱血講師の豊島美由紀さん

(3/28)